

<就任挨拶：職業奉仕委員会：長島正巳委員長>

本年度は、副委員長に佐藤正之会員・委員に石井新一会員と私の3名で一年間、委員会活動を行ってまいります。

職業奉仕の言葉の意味もなかなか分かりにくく、多くの会員の方も十分な理解をされていない委員会です。

委員長の自分自身もまだまだ勉強不足ですので、2～3月程度勉強させて頂き、皆様に出来るだけ、分かりやすい形で活動に協力をお願いしたいと思っております。当面は、下記に記しております事柄を旨として頑張っております。

ご協力よろしくお願いいたします。



【目 標】

職業奉仕とは、あらゆる職業に携わる中で、奉仕の理想を生かしていくことをロータリーが育成、支援する方法であり、ロータリークラブとクラブ会員両方の責務である。クラブの役割は模範となる実例を示すことによって、また、クラブ会員が自己の職業上の手腕を発揮できるようなプロジェクトを開発することによって、目標を实践、奨励することであり、クラブ会員の役割は、ロータリーの原則に沿って、自らと自分の職業を律し、併せてクラブ・プロジェクトに応える事を目標とする。

【活動計画】

- ・職業奉仕の意味・理念を時間を掛け会員各位に理解をしてもらう。
- ・職業奉仕月間には、地区委員の卓話を行って頂く。  
(当クラブより、地区委員を輩出していますので、お願いしたいと思います。)
- ・チャンスがあれば、自クラブ会員の職場に伺い、その職業の倫理観等を学ぶ事とする。

😊 <ニコニコ委員会：小林 弘委員長>

■三村藤明会員

家内の誕生祝いを有難うございました。

■織田 証会員

先日は誕生日のお祝いありがとうございました。例年以上に暑い夏になりそうですが、夏バテする事なくがんばりたいと思います。

■白鳥パスタガバナー

本日は卓話に呼んで頂き有難うございます。貴クラブの発展をお祈り致します。

■小林 弘会員

本日は遠路にもかかわりませず、卓話において頂き誠にありがとうございました。

■奉仕の理想 (Ideal of Service) ■



己に天職という使命を与えてくれた社会、また己の職業を生かし続けさせてもらっている社会に感謝するとき、その仕方(奉仕)の基本として個人生活、社会生活、職業生活に於いて利己的欲求は最小限にとどめ、常に最大利他の究極を求め続けて行こうとするロータリーの奉仕哲学である。

社会奉仕基金 4,021円

《会報編集委員》高橋 修・織田証・大川隆永・瀧上啓太

国際ロータリー第2790地区第12分区

松戸北ロータリークラブ



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

第1974回 例会 2013年7月16日(火)

- 国際ロータリー会長 ロンD. パートン
- 第2790地区ガバナー 関口 徳雄
- 第12分区ガバナー補佐 渡辺 敏弘
- 松戸北ロータリークラブ会長 児山 守治
- 松戸北ロータリークラブ幹事 平田 洋一
- 例会日 - 毎週火曜日12:30より (第1例会18:30)
- 例会場 - 松戸市八ヶ崎1-10-6 「びわ亭」
- 事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズハイム101
- TEL/FAX- 047-711-5950 / 047-711-5910
- Web/Mail- www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

# WEEKLY REPORT

## <第1974回・例会プログラム>

12:30 点鐘	児山会長
ロータリーソング(我等の生業)斉唱	
お客様紹介	崎谷会長エレクト
会食	
例会再開	
12:50 会長挨拶・報告	児山会長
12:55 幹事報告	平田幹事
13:00 【委員長就任挨拶】	
職業奉仕委員会	長島委員長
13:05 【内部卓話】	白鳥政孝パストガバナー
13:25 【委員会報告】	
出席親睦委員会 諸事お祝い	野村委員長
社会奉仕委員会 社会奉仕基金発表	高橋清委員
ニコニコ委員会 ニコニコ発表	小林弘委員長
13:30 点鐘	児山会長

## <会長挨拶：児山守治会長>

皆さんこんにちは 本日も大変お暑うございます。お身体ご自愛下さい。

本日は待ちに待った白鳥パストガバナーの卓話であります。本日は会員の方々が大変お世話になっている方の叙勲のお祝いと重なってしまい、何名かの仮欠席が見受けられますが、仮欠席の方々は白鳥さんの卓話を聞けずに残念がっております。

卓話の最後にパストガバナーが出張されましたリスボンの話も宜しくお願いたします。

本日は卓話をどうぞ宜しくお願いします。会長挨拶を終わります。



## <幹事報告：平田洋一幹事>

崎谷会長エレクトが事務所の雨戸を直してくれました。ありがとうございます。7月30日(火)の例会は通常通りですのでお間違えないようよろしくお願いいたします。

ちなみに8月13日(火)の例会は、定款第6条・第1節により休会となります。



### ■ロータリーの奉仕哲学「超私の奉仕」Service above self■

このServiceの意味は人のためにつくすこと。ビジネスでもServiceの心がけはシェルドンの言葉を借りれば「永続的な顧客を得る道」であり、信用を増して繁栄への道につながる。

# WEEKLY REPORT

## <卓話：白鳥政孝パストガバナー：ロータリー雑感・前篇>

市原ロータリー・クラブに入会し、29年目になります。早いものです。入会してからは、与えられた委員会活動を通して、先輩からロータリーの知識やルールを教えられ、ロータリーの全体像を描くことができました。クラブ例会より、セミナーの往復の車中や炉辺会談等での談話の方が、ロータリーを知るうえにとっても効果がありました。日ごろいかめしい顔付の先輩と行動をとるに、ロータリーの話や聴くにつれ、先輩に親近感を抱くようになりました。それからは気楽に例会に出席できるようになり、ロータリーを身近に感じるようになりました。



またロータリーはいろいろな役目を与えてくれます。そのたびに、それまでに気にしたことのない洞察、寛容、親睦、多様性、高潔性とは何かを真剣に考えるようになりました。そうこうしているうちに、思慮深い考え方や分別ある感覚が、ロータリー・ライフの中でごく自然に養われていることに気がきました。

クラブ会員との交流から人間形成ばかりでなく、趣味の幅も広くなり、豊かな感性ともいえるセンスを身につけるようになって、ロータリーは私の人生に彩りと豊かさをもたらしています。それは予想をはるかに超えたもので、私にとってロータリーは、感動的であり、刺激的であり、教訓的であり、未知の世界への誘いでもあり、人生最大の師との出会いとなっています。もっと知ろう、もっと学ぼうという気持ちが沸々と湧いてきて、学べば学ぶほどロータリーは幅が広く、奥行きあるものとなってまいりました。その気になりさえすれば、ロータリーはあらゆる分野のセンスを磨く機会を与えています。これは実に驚くべきことでもあります。

利害関係のないロータリーでは、クラブ運営やプロジェクトの推進、さらにロータリーの哲学や思想などを自由闊達に話し合いながら物事を進めてまいります。そこには、お互いの意見を尊重しあうというロータリーの大原則(四つのテスト)があるので、相和するうちに、物事を一面的でなく、多面的に捉えることをロータリーはいつでも訓練して学びあっています。もし、クラブ内で他の意見を尊重するような、また、お互い良い面を感化しあうような雰囲気でないとするならば、そのクラブは食事をするだけの単なる親睦団体にすぎず、ロータリーの良さを知らずしてロータリーを本当の意味の楽しさを味わっていないと思います。ジワーッとにじみ出でくるような楽しみを味わいたいですね。瞬間的な、一時的な楽しみとは大きな質の違いがあります。

「例会は人生の道場である」とか「自己研鑽を積む場である」というのは、クラブ内の雰囲気を少しでも良い方向に向けていこうという会員の気持ち次第ということになります。ロータリーは品位の向上を綱領でいっております。

ロータリーの世界では、常に四つのテストを念頭において、いったん俗世間から離れて精神が鈍化された者が集う世界であり、向上心と寛容や謙虚さを備えた者どうしの友情溢れる世界であり、四つのテストを言行一致させようと努める仲間が寄り合う世界は実に楽しいのです。ロータリーを心から楽しもうと努めたいものです。

ロータリーの職業奉仕の理念を学ぶのも、クラブ奉仕からいろいろ体験するのも、社会奉仕、国際奉仕の実践から世の条理・不条理を知るのも、友情を育むのも、すべては週一度の例会に集い、顔と顔を合わせて語り合うことが出発点となります。このことは皆様十分に知っていることですが、それを活用することにおいては人さまざまであります。果たして十分にロータリーを活用しているかどうか、時々自問してみることが大切ではないでしょうか。

決して安いとはいえないロータリーの年会費と貴重な時間を費やしているのですから、ロータリーを十分活用したいものです。それは一寸した心の持ち方次第であります。難しく考えるよりは、自分自身が実際においてどう考えて、どのようにロータリーで行動しているかであり、

一例を挙げれば、例会出席やロータリー談義などに進んで加わっているかどうかで自分のロータリーの活用度合いを測る事ができます。クラブ内で自分自身が妬み、嫉み、やましい気持ちがないかどうかと省みることの自問もあります。その場合無心になって他の人とのロータリー談義はロータリーの活用に沢山の効果をもたらします。委員会活動、炉辺会議などは大事ですね。

【貴重なお話の後編は次号に掲載します どうぞお楽しみに・・・】